

県北地域では、先月に引き続き、手足口病やRSウイルス感染症などが流行しています。感染性胃腸炎も増加傾向にあり、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎や流行性角結膜炎も小流行が続いています。

今月も油断せずに、外から帰ったら、手洗い、うがいなどの感染予防対策を続けましょう。

感染性胃腸炎の二次感染を予防するために！



感染性胃腸炎とは、ウイルスによる感染症です。
感染してから約1～3日で、吐き気や嘔吐、下痢や腹痛、発熱等の症状を起こします。
感染した人の便・嘔吐物に触れた手を介して、人から人へ感染したり、飲食物を介して感染することもあります。

症状が治まってからも、約2～3週間は便の中からウイルスを排泄していることがありますので、油断は禁物です！

★感染を最小限に食い止め、ご家族の方々の健康を守るために、下記のことにご注意しましょう★

《予防策》

- ①手洗いを徹底しましょう。
 - ・水道の流水と薬用石鹸などで、十分に手を洗い、自分専用のきれいなタオルで拭きましょう。
- ②トイレや洗面所等の消毒をしましょう。
 - ・消毒薬(便などで汚染されている所は0.1%次亜塩素酸ナトリウム、汚染されていない所は0.02%の次亜塩素酸ナトリウムで)を浸した使い捨ての布等で拭いたあと、10分くらい放置してから水拭きしましょう。
 - ※消毒薬の作り方及び各場所の消毒法の詳細は感染症情報レター第5号の「消毒方法について」をご覧ください。
- ③入浴の際は、以下の点にご注意しましょう。
 - ・症状のある方はできるだけ、シャワーにしましょう。
 - ・どうしても浴槽を使用するときは、一番最後に入りましょう。
 - ・入浴後の浴槽は、消毒薬(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)を用いて消毒しましょう。
 - ・タオルやバスタオルの共有は避けましょう。
- ④衣類の洗濯について
 - ・マスク、使い捨ての手袋やエプロン等をつけて、嘔吐物を取り除いてから、消毒薬(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)に30分以上浸し、家族の洗濯物とは別々に洗い、乾燥機か天日で十分に乾燥させましょう。
 - ※すぐに洗えないような布団などの場合は、嘔吐物をペーパータオルなどで取り除いた後、スチームアイロンで高温消毒しましょう。
 - ※消毒する場合は、マスク、使い捨ての手袋やエプロンをつけましょう。
 - 消毒後はしっかり手を洗いましょう。ポイントは十分な手洗いと消毒(次亜塩素酸ナトリウム・加熱)です。

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましては、メールにてお寄せください。

県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課

メールアドレス hofukunet_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

